

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2024年1月10日時点)

➤ **ウクライナ軍**は、東部(ドネツク州)及び南部(ザポリヅジャ州)での攻勢が停滞する中、ヘルソン正面やクリミア半島方面への攻撃を継続する一方、**露軍**は、東部で攻勢を強めるとともに、各地への攻撃を継続している模様

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人(NYT8月18日)

: 死者約15万人(「ウ」軍総司令官11月1日)

「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人(NYT8月18日)

: 死傷者推定10万人以上(クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)

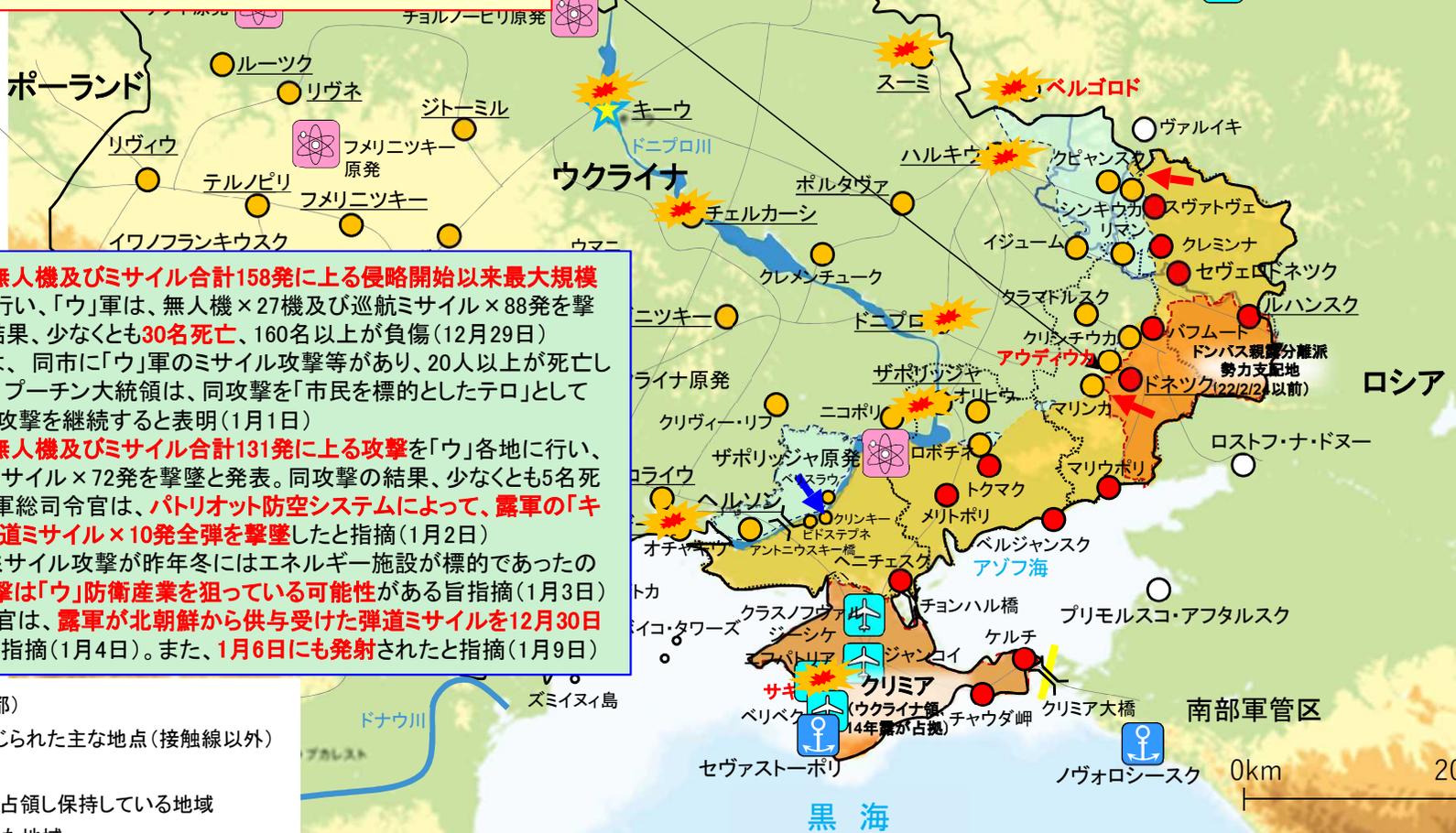
「ウ」市民: 死者10,000人以上、負傷者1万8,500人以上(UN12月4日)

- ゼレンスキー大統領は、アウディウカ方面の前線を視察。同地の将兵は大統領に対し、人員及び電子戦装備の補充を要望(12月29日)
- 「ウ」空軍司令官は、クリミア西部サキ飛行場を攻撃し、同飛行場に置かれていた露軍指揮所を破壊した旨発表(1月6日)

- 「ウ」軍戦略コミュニケーション局は、2022年2月24日から2023年12月28日までの間に露軍が「ウ」に向けて発射したミサイルは合計7,400発に上り、3分の1が「S-300」及び「S-400」地对空ミサイルを対地攻撃で使用したもので、「イスカンデル」地对地短距離弾道ミサイル×約900発、「キンジャル」空中発射弾道ミサイル×48発であったと指摘。また、合計3,700機の「シャヘド」無人機が発射され、うち2,900機が「ウ」軍によって撃墜されたと発表(12月28日)
- プーチン大統領は、年末の演説で、「戦いの最前線にいる皆さんは、我々の英雄だ」と発言(12月31日)
- ゼレンスキー大統領は、年末の演説で、黒海における露海軍の力を封じ込めることに成功したと発言、また、国内兵器生産を強化し、2024年中に少なくとも100万機の無人機を生産すると表明(12月31日)
- プーチン大統領は、「ウ」での「特別軍事作戦」で軍と契約した外国人とその家族に露国籍取得を認める大統領令を発表(1月4日)

- 「ウ」空軍は、露軍が無人機及びミサイル合計158発に上る侵略開始以来最大規模の攻撃を「ウ」各地に行い、「ウ」軍は、無人機×27機及び巡航ミサイル×88発を撃墜と発表。同攻撃の結果、少なくとも30名死亡、160名以上が負傷(12月29日)
- 露ベルゴロド州知事は、同市に「ウ」軍のミサイル攻撃等があり、20人以上が死亡したと発表(12月30日)。プーチン大統領は、同攻撃を「市民を標的としたテロ」として「ウ」軍関連施設への攻撃を継続すると表明(1月1日)
- 「ウ」空軍は、露軍が無人機及びミサイル合計131発に上る攻撃を「ウ」各地に行い、うち無人機全機及びミサイル×72発を撃墜と発表。同攻撃の結果、少なくとも5名死亡、130名負傷。「ウ」軍総司令官は、パトリオット防空システムによって、露軍の「キンジャル」空中発射弾道ミサイル×10発全弾を撃墜したと指摘(1月2日)
- 英国防省は、露軍のミサイル攻撃が昨年冬にはエネルギー施設が標的であったのと対照的に最近の攻撃は「ウ」防衛産業を狙っている可能性がある旨指摘(1月3日)
- 米NSC戦略広報調整官は、露軍が北朝鮮から供与を受けた弾道ミサイルを12月30日と1月2日に発射したと指摘(1月4日)。また、1月6日にも発射されたと指摘(1月9日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が奪還した地域



国土院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等